

「土砂災害から人の命や暮らしを守るために」



2026.03



峠沢（長岡市）



万内川砂防公園サマーフェスティバル（砂防事業の歴史を学ぶ様子）





新潟県治水砂防協会
会長

井畑 明彦
(胎内市長)

令和7年は、8月の九州・北陸を中心とした線状降水帯等による豪雨をはじめ、全国で多くの土砂災害が発生し、人的被害や多くの家屋等の損壊が生じるなど、甚大な被害が発生しました。

新潟県においても、妙高市で4月に発生した融雪による大規模な地すべりや佐渡市を中心とした8月の豪雨により、これまでに県内11市で合計49件の土砂災害が発生し、県民生活に大きな影響を及ぼしています。

近年、気候変動の影響により自然災害が激甚化・頻発化している中で、安全・安心に住み続けられるまちづくりを実現するためには、住民の「いのち」と「くらし」、そして「なりわい（生業）」を守る土砂災害対策は喫緊の課題となっています。

本協会では、土砂災害対策を着実に推進するため、国に対して要望を行うとともに、県と協会がさらに連携を深め、ハード・ソフト両面で砂防関係事業を強力に進めていくことが必要と考えています。

今後とも、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

■令和7年度新潟県治水砂防協会の活動報告	3
■【トピック1】県北豪雨に伴う工事の進捗状況	4
■【トピック2】災害関連緊急地すべり対策事業	5
■砂防関係事業の整備方針・事業費	6
■砂防関係事業の取組（ハード対策、ソフト対策）	7
■土砂災害防止活動	12
・地すべり巡視員制度	
・新潟県砂防ボランティア協会の活動	
・土砂災害に対する防災訓練	
・マイ・タイムライン教室（マイ・タイムライン作成支援）	
・令和7年度砂防学会信越支部現地見学会	
・ぼうさいこくたい	
・6月は土砂災害防止月間です	
・第33回砂防研究会in板倉	
・新潟県土木部研修	
・砂防講演会	
・土砂災害防止「全国の集い」でのポスター展示	
・砂防議連砂防先進地視察	
・万内川砂防公園サマーフェスティバル	
・12月1日～7日は雪崩防災週間です	
・雪崩災害に対する警戒体制の強化に係る講習会	
・雪崩災害防止セミナー	
・雪崩パトロール	
・雪崩災害から身を守るためには	
・地すべり資料館の活動	
■令和7年度 土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール	23
■土砂災害から身を守るためには	24

新潟県 宣伝課長

『トッキッキ』



とっぴー きっぴー

新潟県治水砂防協会とは？

新潟県治水砂防協会（一般社団法人 全国治水砂防協会新潟県支部）は、県内29市町村で構成された組織です。

県土の保全と住民の生命・財産を守るため、砂防に関する普及啓発活動や要望活動などを行っています。

令和7年度新潟県治水砂防協会の活動報告

令和7年度定期総会

令和7年7月23日（水）、新潟県自治会館において定期総会を開催しました。

総会には、清田県土木部長、國友国土交通省砂防部長、大野全国治水砂防協会理事長ほか来賓多数のご臨席をいただきました。議事では、令和6年度決算、令和7年度予算・会費などが審議され、いずれも原案どおり承認されたほか、任期満了に伴う役員を選任が行われた結果、本会役員は下記名簿のとおりとなりました。

決議では、国土強靱化実施中期計画に基づく砂防・地すべり対策・急傾斜地崩壊対策事業の重点的・計画的な促進と予算の確保など、6項目が満場一致で採択されました。

その他、砂防事業に対する永年の功績が認められた下記の方々を表彰し、記念品を贈呈しました。



井畑会長

新潟県治水砂防協会役員名簿

役職	職名	氏名	備考
会長	胎内市長	井畑 明彦	
副会長	妙高市長	城戸 陽二	
副会長	湯沢町長	田村 正幸	
評議員	新発田市長	二階堂 馨	
評議員	南魚沼市長	林 茂男	
監事	刈羽村長	品田 宏夫	
監事	糸魚川市長	久保田 郁夫	新任

砂防功労者表彰受表彰者名簿

氏名	職名
米田 徹 様	前 糸魚川市長（前 新潟県治水砂防協会監事）
石川 一栄 様	前 国土交通省北陸地方整備局河川部河川情報管理官（元飯豊山系砂防事務所長）
深田 健 様	前 県土木部長
太田 あみ 様	前 県南魚沼地域振興局地域整備部道路課主査（元県十日町地域振興局地域整備部治水課主任）
清水 肇 様	地すべり巡視員

要望活動

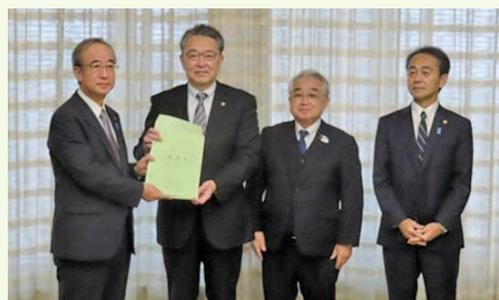
北陸地方整備局要望（令和7年7月23日） 中央要望（令和7年8月8日）

1. 土砂災害対策事業の促進について
2. 雪崩対策の促進について
3. 砂防関係施設の老朽化対策の促進について
4. 住民の避難行動につなげるソフト対策の促進について
5. 新潟焼山の火山防災の促進について
6. 直轄砂防関係事業の促進について

7/23北陸地方整備局要望
(高松局長に要望する井畑会長 左端)11/13国土交通省要望
(國友砂防部長に要望する井畑会長 左)

国土交通省要望（令和7年11月13日）

1. 土砂災害対策の継続的な予算確保について
2. 土砂災害警戒区域等におけるハード対策促進のための制度拡充について
3. 砂防関係施設の機能を発揮させる老朽化対策の推進について
4. 基礎調査費の地方負担軽減について
5. 土砂災害特別警戒区域内の住宅移転・改修等に係る助成制度拡充について
6. 土砂災害対策の体制及び組織の充実、人材育成の強化について

12/26県要望
(花角知事に要望する井畑会長 右端)

県要望（令和7年12月26日）

1. 土砂災害対策事業の促進について
2. 雪崩対策事業の促進について
3. 砂防関係施設の老朽化対策の促進について
4. 住民の避難行動につなげるソフト対策の促進について
5. 新潟焼山の火山防災の促進について

主な会務報告

月 日	会議及び主な報告事項	場所	出席者等
4/11・22	令和6年度新潟県治水砂防協会会計決算監査（書面）		監事 米田糸魚川市長、品田刈羽村長
5/29	全国治水砂防協会通常総会	東京都	井畑会長、城戸・田村副会長、市町村関係者、県砂防課長
7/23	令和7年度新潟県治水砂防協会定期総会	新潟市	井畑会長、城戸・田村副会長、市町村関係者
	北陸地方整備局要望 要望先：局長・関係部長	新潟市	井畑会長
8/8	中央要望 要望先：国土交通大臣・県関係国会議員ほか	東京都	井畑会長
10/14・15	全国治水砂防協会北陸信越地区支部長・参与会議	福井県	井畑会長、県砂防課長
10/20	土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール審査	新潟市	事務局長
10/23・24	全国治水砂防協会砂防現地視察と討論会	福岡県	田村副会長
11/13	全国治水砂防促進大会・県関係国会議員要望	東京都	井畑会長、田村副会長、市町村関係者、県砂防課長補佐
	国土交通省要望 要望先：砂防部長ほか	東京都	井畑会長、県砂防課長補佐
11/21	砂防講演会（本会共催）	新潟市	県・市町村担当者ほか
12/26	県要望 要望先：県二役、関係部局長・課長	新潟市	井畑会長

県北豪雨に伴う工事の進捗状況

令和4年8月3日から4日にかけて県北地域を中心に発生した記録的な大雨では、村上市の5渓流において土砂災害が発生しました。この5渓流については、災害関連緊急砂防事業にて採択され、現在鋭意工事中です。

溪流名	事業費 (億円)	工 種
小岩内大沢川	6.9	砂防堰堤(嵩上げ) 1基 (11.5→14.5m及び部分透過型化)
上江沢川	4.3	// (新設) 1基 (部分透過型) H=8.0m
貝附大沢川	6.1	// (嵩上げ) 1基(10.0→14.0m及び部分透過型化)
モンキッ沢川	4.0	// (嵩上げ) 1基(12.5→14.5m及び部分透過型化)
念仏沢川	4.2	// (新設) 1基 (部分透過型) H=11.0m
5溪流計	25.5	



【小岩内大沢川】



【モンキッ沢川】



【念仏沢川】



トピック2

災害関連緊急地すべり対策事業

令和7年4月15日に妙高市平丸地区で融雪を誘因として発生した地すべりに対して、災害関連緊急地すべり対策事業にて対策を実施しています。

【復旧の状況】 令和7年12月8日

【被災当時の状況】

【平丸地区】
 新潟県妙高市大字上平丸地内
 ・発生年月日：令和7年4月15日
 ・保全対象：県道、人家、市浄水場 等
 ・崩壊規模：長さ100m、幅30m
 ・主な工法：横ボーリング工、土留工
 仮設大型土のう 等

位置図

新潟県
平丸地区

全景写真

滑落崖の状況



拡大写真



砂防関係事業の整備方針

1. 社会生活や経済活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

- ✓ 近年大きな被害をもたらしている土砂・洪水氾濫や流木災害などのあらゆる土砂災害リスクに対して、**流域治水**の考え方に基づいた砂防施設等の整備により、確実に「**いのち**」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信等の基幹施設、学校や医療関係施設など「**くらし**」に直結する**基礎的なインフラ**を集中的に保全
また、人口減少下においても地域社会を維持するため、地域の伝統産業や次世代産業など「**なりわい**」を守る**砂防関係事業**を推進

2. 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

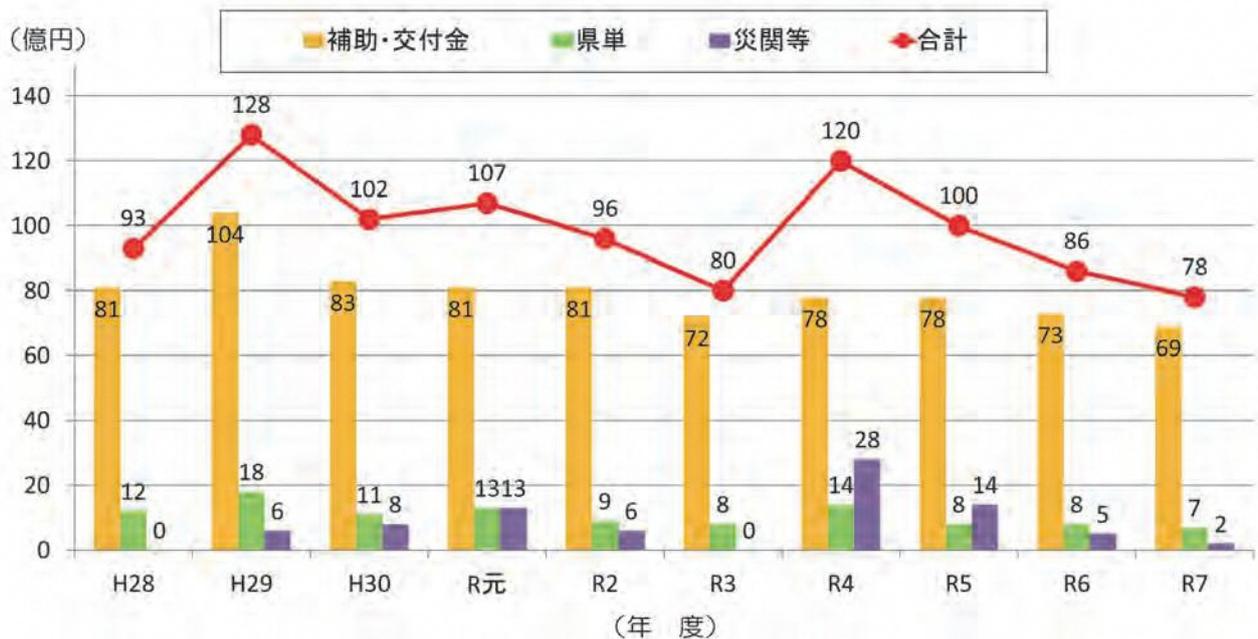
- ✓ リスク情報の高度化を図るとともに、より分かりやすく伝えることで**地域住民と認識を共有**し、確実な「いのちを守る行動」へ繋げる
- ✓ **自助・共助**を強力に支援し、住民を含む多様な主体の取組により地域全体の防災力を向上

3. 既存施設の高機能化、多機能化による整備の加速化

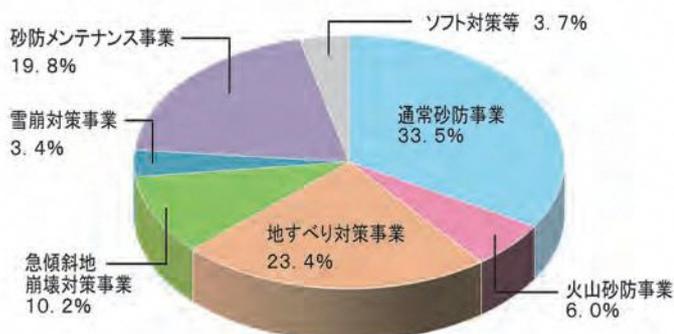
- ✓ **堰堤の除石**、**流木対策施設**の設置、かさ上げなど既存施設の高機能化、多機能化を図ることで、安全度を加速度的に向上
- ✓ 併せて、緊急的に老朽化対策が必要な施設について、集中的な対策を行うとともに、計画的な予防保全を図る

砂防関係事業の事業費

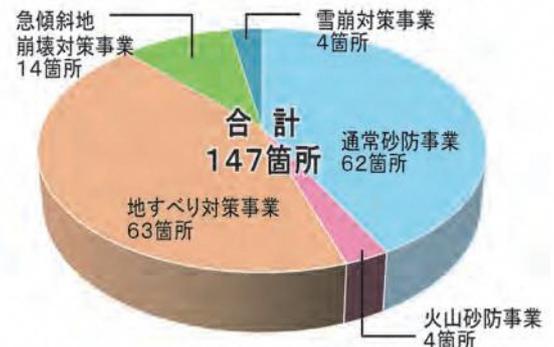
●過去10年間の砂防関係事業費の推移



●令和7年度の補助・交付金事業の内訳



●令和7年度の補助・交付金事業の箇所数



※砂防メンテナンス、ソフト対策等は除く

砂防関係事業の取組（ハード対策）

公共事業の効率的・効果的な実施と透明性の確保を図るため、社会資本整備の必要性や効果を精査し、必要な社会資本を着実に整備するとともに、老朽化が進む社会資本の維持管理・更新を計画的・効率的に進めるため、令和8年3月に、「新潟県土木部社会資本維持管理計画」を改定し、県民のくらしといのちを守る災害に強いふるさとづくりを推進するための施設整備を実施しています。

1 溪流の土砂対策

①土石流対策施設の整備

- ・要配慮者利用施設、市町村地域防災計画に位置づけられている避難所を保全対象に含む溪流
- ・重要交通網や緊急輸送道路を保全対象に含む溪流
- ・集落が孤立する恐れのある溪流
- ・保全人家戸数が10戸以上ある溪流
- ・観光拠点及び都市との連携拠点等を保全する溪流

②流出土砂の堆積に伴う水害の防止

- ・過去10年間で流出土砂の堆積による水害が発生した溪流

③新潟焼山の火山噴火に伴う泥流災害の防止



浄土川（長岡市渡沢町 R6完了）

2 地すべり対策

①地すべり対策施設の整備

- ・過去10年間に地すべりが発生した箇所
- ・要配慮者利用施設、市町村地域防災計画に位置づけられている避難所を保全する箇所
- ・住民の生活に重大な影響が及ぶ箇所
- ・エネルギー供給施設を保全する箇所
- ・重要交通網や緊急輸送路を保全する箇所
- ・観光拠点及び都市との連携拠点等を保全する箇所



広田地区（糸魚川市北山 R6完了）

3 かけ崩れ対策

①急傾斜地崩壊対策施設の整備

- ・過去10年間にかけ崩れが発生した箇所
- ・要配慮者利用施設、市町村地域防災計画に位置づけられている避難所を保全する箇所
- ・避難路に指定されている道路を保全する箇所
- ・重要交通網や緊急輸送路を保全する箇所
- ・観光拠点及び都市との連携拠点を保全する箇所
- ・土砂災害特別警戒区域に指定されている箇所



水津地区（佐渡市水津 R6完了）

4 雪崩対策

①雪崩対策施設の整備

- ・過去に雪崩が発生した箇所
- ・要配慮者利用施設、市町村地域防災計画に位置づけられている避難所を保全する箇所
- ・集落が孤立する恐れのある道路を保全する箇所
- ・観光拠点及び都市との連携拠点を保全する箇所

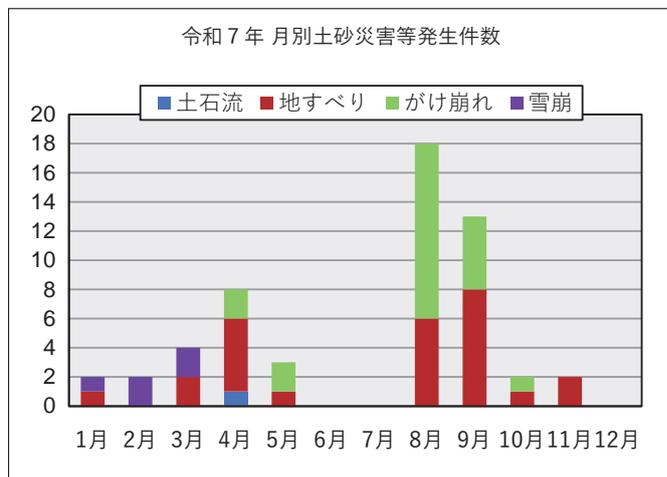
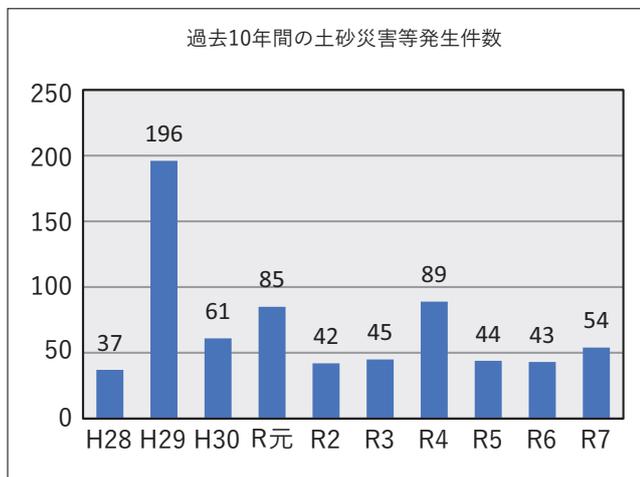


中川原地区（糸魚川市山之坊 R6完了）

●令和7年に新潟県で発生した土砂災害

新潟県では、毎年多くの土砂（雪崩）災害が発生しています。

令和7年の土砂（雪崩）災害発生件数は、土石流等1件、地すべり26件、がけ崩れ22件、雪崩5件の合計54件でした。



令和7年8月6日
佐渡市羽茂本郷地内



令和7年9月3日
上越市五智五丁目地内

●公共事業再評価

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業採択後一定期間を経過した事業等を対象に、その後における社会経済情勢の変化等を踏まえた公共事業の評価を行います。

学識経験者等第三者で構成される「第1回新潟県公共事業再評価委員会」が令和7年11月18日（火）に開催され、砂防課の所管する事業16箇所について委員会に諮り、事業継続は妥当との意見をいただきました。

令和7年度 砂防課所管事業の再評価実施箇所数

事業名	箇所数
砂防事業	8
地すべり対策事業	8
計	16



再評価委員会の様子

●土砂災害警戒情報システムで土砂災害危険度のメッシュ情報等が確認できます

「土砂災害警戒情報」は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時に新潟県と新潟地方気象台が共同で発表する防災情報で、警戒レベル4（危険な場所から全員避難）に相当する情報です。

土砂災害警戒情報は市町村単位で発表されますが、1km四方での判定により、お住まいの地域が危険になっているか「新潟県土砂災害警戒情報システム」で確認することができます。

新潟県 新潟県土砂災害警戒情報システム

【土砂災害警戒情報発表速報】
×××現在、県内に土砂災害警戒情報は発表されていません×××

土砂災害危険度
1km四方メッシュの土砂災害危険度を調べることができます。

土砂災害危険箇所
土砂災害危険箇所の場所を確認することができます。（土砂災害危険度のメッシュ情報も表示されます。）

雨量観測所情報
雨量観測所のデータを確認することができます。

土砂災害危険度履歴
土砂災害危険度の市町村別の危険度履歴を表示します。

土砂災害（特別）警戒区域
土砂災害警戒区域等の指定状況を確認することができます。

解説
新潟県土砂災害警戒情報システムの解説ページです。

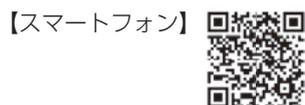
リンク
総合トップメニューへ戻ります。

お問い合わせ
新潟県土砂災害警戒情報システムの操作方法を確認できます。

防災気象情報(気象庁) 気象庁のHPへ移動します。

土砂災害警戒情報システム

【PC】 <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>
 【携帯電話】 http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou_m/



●火山噴火緊急減災対策事業

新潟県には新潟焼山と妙高山という2つの活火山がありますが、このうち活発な活動が見られる新潟焼山について、平成28年度より創設された火山噴火緊急減災対策事業により対策を実施しています。

噴火に速やかに対応するため、「新潟焼山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定し、緊急時の対応を検討しています。この中で、緊急ソフト対策として、監視カメラなど観測機器の設置を進めています。

また、噴火した際の緊急ハード対策として、早川に仮設のコンクリートブロック堰堤工を設置する計画としており、使用するコンクリートブロックの製作を令和元年度に完了しています。

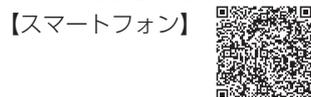
●新潟焼山火山監視システムで新潟焼山の様子が見られます

平成18年度より、焼山温泉観測局及び火打1号ダム観測局に設置している監視カメラ画像のインターネット公開を開始しており、誰でも新潟焼山の状況を確認できます。

（静止画のみ、10分ごとに更新されます。）

新潟焼山監視システム

【PC】 http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/yk_camera/index.html



新潟県 新潟焼山火山監視システム

観測設備位置図

妙高市 新潟焼山 糸魚川市

火打1号ダム観測局カメラ 全観 拡大

焼山温泉観測局カメラ 全観 拡大

観測情報 2018年08月31日08時30分

火打1号ダム観測局カメラ		焼山温泉観測局カメラ	
主観画像		主観画像	
拡大画像		拡大画像	
降雨雨量	0(mm)	降雨雨量	0(mm)
1H降雨雨量	14(mm)	1H降雨雨量	5(mm)
24H降雨雨量	446(mm)	24H降雨雨量	276(mm)
風速	北 0.1(m/s)	風速	無風
気温	0.1(m/s)	気温	0.1(m/s)

※ 各カメラは設置用の主観画像/拡大画像のカメラに観測項目をセレクトすると、該当画像の拡大、該当項目の時刻別グラフが参照できます。
 ※ 本システムで表示される観測情報は、国土院地質院長の委託を受けて、国土地理院の観測情報(観測データ)を基に、気象庁の観測データ(気象庁)を使用して、次の観測項目の観測結果を生成しています。(観測結果は、平日昼間、観測局)

気象庁 観測・解析結果 総合トップメニュー 土砂災害システム 総合TOPページ

土砂災害防止活動

●地すべり巡視員制度

地すべり巡視員は、地すべりの早期発見及び被害を最小限に食い止めるために、地すべりの危険がある区域をパトロールしています。巡視員には地域の状況をよく知り、地すべりの知識を持っている地元の方々を選出しており、現在201名の方が活躍しています。

毎年5月下旬頃には、巡視員の技術向上のため「地すべり巡視員初任者講習会」を開催しています。今年度は、令和元年度以来、6年ぶりに、長岡、妙高の2会場で対面により開催しました。



「令和7年度地すべり巡視員初任者講習会」(左：長岡会場 右：妙高会場)

●新潟県砂防ボランティア協会の活動

新潟県砂防ボランティア協会では、長年砂防事業に携わってきた経験豊富な方々が中心となり、土砂災害防止に向けた活動を行っています。県や市町村、地元住民の方々と協力しながら、土砂災害（特別）警戒区域の点検を行うほか、要配慮者利用施設や町内会等を対象とした地域防災懇談会に講師を派遣し、分かりやすい説明や助言を行っています。



地域防災懇談会 (令和7年6月25日 弥彦村内)



地域の危険箇所点検 (令和7年11月12日 阿賀町内)

●土砂災害に対する防災訓練

県内各地で、土砂災害に対する防災訓練が行われました。今年度は「情報の確認、早めの避難」をキャッチフレーズに、避難所への住民避難のほか、体が不自由な方の避難支援、土砂災害パトロール、防災講習会、情報伝達訓練などを実施し、非常時の行動を確認しました。



早めの避難訓練の実施状況



避難所の様子

防災訓練の様子（令和7年6月5日 栗島浦村）



要支援者避難訓練実施状況



早めの避難訓練の実施状況

防災訓練の様子（令和7年6月15日 見附市）

●マイ・タイムライン教室（マイ・タイムライン作成支援）

洪水・土砂災害発生時の逃げ遅れゼロを目指して作成する、自分の時間ごとの避難行動計画『マイ・タイムライン』の全県普及にむけて、県内の小学校・中学校・高校で「マイ・タイムライン教室」を河川管理者と共同で開催しました。

今年度は牧中学校（上越市）のほか、小学校3校、中学校5校、特別支援学校1校、計9校で実施し、グループワークや発表で情報の共有をしながら、それぞれのマイ・タイムラインを作成しました。



牧中学校での実施状況

●令和7年度砂防学会信越支部現地見学会（令和7年10月31日（金））

令和7年10月31日（金）に令和7年度砂防学会信越支部の現地見学会が新潟県村上市及び関川村で開催されました。当見学会には支部会員22名が参加し、令和4年8月県北豪雨で被災した小岩内大沢川（村上市）や下土沢（関川村）の渓床状況、対策施設及び保全対象等を見学しました。

小岩内大沢川の現場では、講師として新潟大学農学部の中田教授から被災状況等について説明を受けるとともに、村上地域振興局地域整備部の本間主査が工事の進捗状況等を報告しました。



小岩内大沢川（村上市）の現地見学会の様子

●ぼうさいこくたい（令和7年9月6日（土）～9月7日（日））

「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」が令和7年9月6日（土）・7日（日）に朱鷺メッセで開催されました。「ぼうさいこくたい」は、国民一人ひとりの防災意識の向上や多様な主体による連携・協働の強化を目的として内閣府が主催する、全国最大級の防災イベントです。

砂防課では、土砂災害への理解促進を図るため、土砂災害の概要や対策を紹介するパネル展示、ハード対策の効果が分かる模型展示、土砂災害に関する動画上映、避難行動に関するチラシ配布などを行い、日頃から土砂災害に対する備えの重要性を来場者に伝えました。

2日間で約500名が砂防課ブースを見学し、特に家族連れの姿が多く見られました。中でも模型展示は子どもたちに大変好評で、また、動画についても「普段目にする機会のない災害の様子がよく分かる」として、多くの来場者の関心を集めていました。



当日の様子



砂防課ブースの様子

● 6月は土砂災害防止月間です

【広報活動】

新潟県では毎年、土砂災害防止月間に土砂災害防止に係る広報活動を行っています。

今年度は市町村施設でのパネル展示、テレビ番組、アルビレックス新潟ホーム戦の大型ビジョンでのCM放送など土砂災害防止の啓発活動を行いました。

パネル展示については、7月から9月にかけて、弥彦村、胎内市、五泉市、阿賀野市、新潟市の5市村の市役所・村役場や公民館において実施しました。

令和7年5月25日（日）には、アルビレックス新潟ホーム戦（湘南ベルマーレ戦）において、大型ビジョンでのCM放送を実施し、多くの来場者に向けて注意喚起を行いました。

令和7年5月31日（土）には、「土砂災害に注意」と題し、UX「ほっとホット新潟」で県民の皆さまに土砂災害への備えについて分かりやすく周知しました。



土砂災害防止月間ポスター



パネル展示（胎内市）



UXアナウンサー小池さんと砂防課金子主任



アルビレックス新潟ホーム戦での大型ビジョン

● 第33回砂防研究会in板倉（令和7年11月26日（水））

「砂防研究会in板倉」は、土砂災害防止の啓発行事の一環として、砂防関係者の幅広い見識の取得を目的に平成5年から毎年開催しています。

今年度は、国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ雪崩・地すべり研究センター 藤平 大氏から「富士山における雪代（スラッシュ雪崩）に関わる現象および砂防事務所による対策について」、新潟地方気象台広域防災管理官 金内 正文氏から「近年の降水の特徴と今後の天候の見通し」、日本工営株式会社 草谷 恭行氏、山口 裕二氏から「DX技術の活用事例」について、ご講演いただきました。講演・報告終了後には、妙高砂防事務所工務課の近藤計画専門員の案内により参加者は地すべり資料館を見学しました。



藤平氏による講演



金内氏による講演



草谷氏、山口氏による講演

●新潟県土木部研修

砂防課では、毎年、県や市町村の職員を対象に、砂防に関する基礎的な知識を習得し、演習などを通じて実務能力の向上を図るための研修を行っています。

(1) 砂防研修、災害報告模擬演習(砂防)

砂防関係事業に関する基礎的事項を習得するとともに、実際の現場において、災害報告の模擬演習を行い、土砂災害発生時の対応能力の向上を図ることを目的に研修を行っています。

研修では、砂防関係法律や施設の効果量の考え方、有効な配置方法等について理解を深めることができます。他にも、災害発生時に迅速に対応できるように、実際に災害現場に訪れ、アプリを用いて被害報告まで行う災害報告模擬演習を実施しました。今年は、砂防研修をWeb、災害報告模擬演習(砂防)を妙高市上平丸地内で行いました。



災害報告模擬演習(砂防)の様子

(2) 土砂災害防止法研修

土砂災害防止法に基づく「基礎調査業務」や「指定事務」に関する基礎的事項及び「区域管理」や「警戒避難体制の整備」「建築確認申請」に必要な知識を習得することを目的に研修を行っています。

今年はWeb研修にて行いました。

(3) 土砂災害警戒区域等点検研修

大規模地震（震度5強以上）が発生した際に実施される土砂災害警戒区域等点検の模擬点検を行い、緊急時に対応できる能力を身に着けることを目的に研修を行っています。

今年は、長岡市山古志地内にて、模擬点検を行いました。



研修（模擬点検）の様子



研修（点検報告）の様子

●砂防講演会（令和7年11月21日（金））

令和7年11月21日（金）に万代シルバーホテルにおいて、砂防課主催、新潟県治水砂防協会共催により「砂防講演会」を開催しました。

今年度は、新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授 西井 稜子様から「2022年8月下越豪雨による土砂災害の実態と今後の課題」と題してご講演いただくとともに、村上地域振興局地域整備部の本間主査から「小岩内大沢川における令和4年8月豪雨災害と砂防事業の取組」について報告があり、79名が聴講しました。



砂防講演会の様子



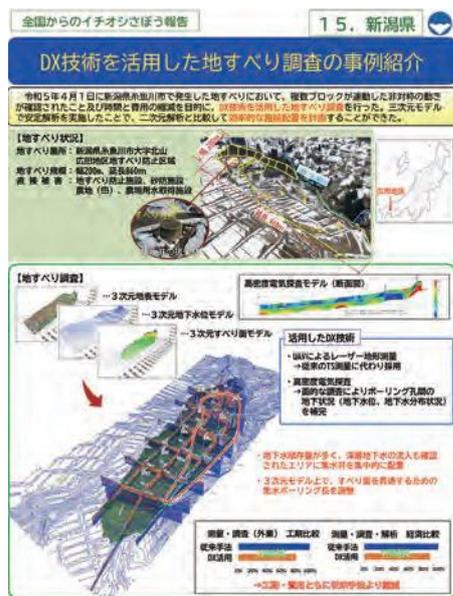
新潟大学 災害・復興科学研究所
准教授 西井 稜子様



村上地域振興局地域整備部 本間主査

●土砂災害防止「全国の集い」でのポスター展示（令和7年6月10日（火））

令和7年6月10日（火）に仙台市において第43回土砂災害防止「全国の集い」が開催されました。式典と併せて実施されたポスター展示「全国からの土砂災害対策事例報告」において、新潟県からは「DX技術を活用した地すべり調査の事例紹介」として、UAVによるレーザー地形測量、高密度電気探査から作成した3次元モデルで安定解析を実施した事例を報告しました。



ポスター紙面



「全国の集い」の様子



ポスター展示の様子

●砂防議連砂防先進地視察（令和7年10月23日（木）～10月24日（金））

新潟県議会議員により組織された「新潟県議会砂防事業促進研究会」は、先進地視察等の研修を通じて、砂防、地すべり、がけ崩れ及び雪崩に関する施策を考究するとともに、その事業促進を図ることを目的として、平成5年より各種活動を行っています。

令和7年度は、静岡県静岡市・富士宮市における砂防関係事業の先進地視察が行われました。



富士砂防事務所による説明



地すべり防止施設（深礎工）の視察



大沢川遊砂地の視察

●万内川砂防公園サマーフェスティバル

妙高市西野谷地内の万内川に築造されている砂防えん堤群11基（最古のものは大正10年に築造）と、万内川支流の日影沢にある床固工群と斜路工等41基（大正後期に築造）は、平成15年度に文部科学省の登録有形文化財に、さらに、平成29年度には土木学会の選奨土木遺産に認定されました。

この文化財を地域の活性化に生かそうと、平成16年度から「万内川砂防公園サマーフェスティバル」を開催しています（主催：地元町内会、自治体、ボランティア団体等からなる実行委員会）。

第22回万内川砂防公園サマーフェスティバルは、8月9日（土）に開催され、猛暑の中約1,300名の来場者数となりました。登録有形文化財めぐりツアー、砂防クイズ、昔あそびゲーム、ニジマスのつかみ取りなど盛りだくさんの催しが行われ、多くの人々で賑わいました。また、川遊びや生物の観察をするなど、水に親しむ様子も多く見られました。

来年度以降も、妙高市西野谷・両善寺周辺地区の豊かな自然と、万内川・日影沢の歴史的砂防遺産を広く知ってもらうために、同フェスティバルの開催を継続していきたいと考えております。



ニジマスのつかみ取り



登録有形文化財めぐりツアー



砂防クイズの様子



石割体験



昔あそびゲームの様子

●12月1日～7日は雪崩防災週間です

【広報活動】

雪崩防災週間に際し、新潟県ではポスター掲示や新潟県ホームページでPRを行いました。また、ポスターやチラシ、パンフレットを要配慮者利用施設等へ配布し、雪崩災害の啓発を行いました。

雪崩防災週間に降にも雪崩災害に対する啓発活動として、令和8年2月28日（土）のUX「ほっとホット新潟」で雪崩災害に対する注意喚起の内容を放送しました。



県庁広報モニター掲示



県庁横断幕掲示



UXアナウンサー富沢さんと
砂防課星野技師

●雪崩災害に対する警戒体制の強化に係る講習会（令和7年11月19日（水）、令和8年2月4日（水））

雪崩災害に適切に対処するため、県職員及び市町村職員を対象に、例年、降雪前と降雪後の2回、砂防課、道路管理課、治山課の3課による合同講習会を開催しています。

雪崩に関する有識者である、新潟地方気象台 中村 誠氏、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 伊藤 陽一氏、国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ雪崩・地すべり研究センター 藤平 大氏、町田建設株式会社 町田 敬氏にご講演いただき、雪崩パトロール時の注意点などを確認しました。



降雪後の講習会の様子



●雪崩災害防止セミナー（令和8年1月13日（火））

「雪崩防災週間」の一環として、雪崩災害について理解を深めることを目的としたセミナーが今年度は福島県で開催されました。基調講演では、新潟大学災害・復興科学研究所教授の河島 克久氏にご講演いただいたほか、国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ雪崩・地すべり研究センター 藤平 大氏をはじめとした3名の方から話題提供をしていただきました。また、雪崩災害防止功労者の表彰式も行われ、3名の方が表彰されました。

【受賞者】

- （表彰順）上石 勲氏（雪氷防災研究センター 契約研究員）
- 町田 敬氏（町田建設株式会社 取締役）
- 山口 悟氏（雪氷防災研究センター 上席研究員）



セミナーの様子

●雪崩パトロール

積雪期において多量の降雪や気温の急な上昇があった場合に、雪崩等の前兆を早期に発見するため、主に雪崩危険箇所を対象として雪崩パトロールを実施しています。

パトロールでは、斜面・植生・雪崩対策施設の状況をチェックします。雪崩の前兆現象であるクラックや巻きだれ等が発見された場合は、危険度に応じて監視、雪庇処理等の必要な対応を行います。



パトロールの様子(妙高市内)



クラック発生の様子(糸魚川市内)



雪庇処理の様子(十日町市内)

●雪崩災害から身を守るためには

日頃から雪崩の発生しやすい箇所(雪崩危険箇所)を確認しておきましょう。

新潟県ホームページ「防災マップ」(パソコン及びスマホで確認できます)
(<https://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/gaikyou/gaikyou.html>)
「防災マップ」→「土砂災害関連情報」→「雪崩危険箇所」を選択



防災マップ

新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」(スマホにアプリをインストールすることで確認できます)
(<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kikitaisaku/1356921834049.html>)
「いしがた危険度マップ」→「ハザード」→「雪崩危険箇所図」を選択



新潟県防災ナビ

パンフレットや副読本の紹介

雪崩災害発生のメカニズムなどをパンフレット等で紹介しています。



下記QRよりご確認ください。



雪崩災害の前兆現象

雪崩が発生する前には以下の前兆現象が起こることがあります。



前兆現象を見つけたら…

- すぐに安全な場所へ避難してください。
- 県地域振興局や市役所等への連絡をお願いします。

●地すべり資料館の活動

地すべり資料館は、地すべりはもちろん、様々な自然災害についてわかりやすく学べる防災学習施設です。今年度も小学校や自治会などを対象に、【自然災害から命を守る学習】を行いました。



博士による防災授業



土砂災害模型の体験の様子



人柱供養堂の見学

<夏休み親子防災教室> (令和7年7月29日 (火))

子どもたちへのチラシ配布やホームページ等で参加募集を行い、「夏休み親子防災教室」を開催しました。自然災害から命を守るための防災講座や地層堆積の実験、液状化実験装置の工作などを行いました。

今年度は、小学生の親子15組33名が参加しました。



案内チラシ



液状化実験装置 工作の様子

<冬の親子防災教室> (令和8年2月14日 (土))

上越市と妙高市内の小中学校へ参加募集を行い、「冬の親子防災教室」を開催しました。屋内では雪崩が起きる原因や特徴、雪崩から命を守る方法についての学習、屋外では雪に埋まったぬいぐるみのクマ太郎くんの捜索救出体験を行いました。

雪国ならではの防災教育の一環として雪崩防災を学ぶ貴重な機会となっています。

今年度は、小学生の親子9組25名が参加しました。



案内チラシ



ビーコン、ゾンデ棒によるぬいぐるみの捜索

<出張地すべり資料館>

妙高砂防事務所では、上越地方の市民が多く集まるリージョンプラザ上越や新井総合コミュニティセンターなどの市・県の公共施設で、「地すべり資料館」の紹介パネルを掲示する「出張地すべり資料館」を開催しています。

今年度は、4会場で延べ91日間に渡り開催しました。

出張の要望は、上越地域振興局妙高砂防事務所（Tel.0255-72-4142）または、砂防課企画調査係（Tel.025-280-5424）まで、お気軽にどうぞ！



道の駅あらい

地すべり資料館って、どんなところ？

DVDシアター (1F)

地震・津波・土砂災害から命を守る方法を映像やアニメで学びます。



「じしんだ！「みーちゃん」のぼうごいくんれん」を上映中。

パネル展示 (1~2F)

様々な自然災害の種類や特徴について、イラストなどを混ぜながら分かりやすく説明しています。



いたくら遊覧館 (1F)

実物の民具やパネル、ジオラマを通し、雪国・板倉の暮らしを知る事ができます。



いろいろ体験コーナー・図書コーナー (2F)

資料館で学んだ知識をパソコンクイズで遊ぶことができます。
・積木ゲーム・地すべり模型・土石流模型・なだれ模型
小さなお子様向けの絵本や、防災に関するDVD、親子で楽しく学べる図書コーナーは、自由にご覧いただけます。



おもしろ実験コーナー (2F)

模型や実験装置により、パネルの内容をさらに分かりやすく説明します。

・液状化実験・層曲実験・地層堆積実験・3D地形図 など



伝説の部屋 (2F)

この地域に残る「二猿の物語」「人柱伝説」「猿又川の物語」を手作りの人形や映像などで紹介します。



研修室 (2F)

会議室としても利用可能。(30名程度)
夏休みの親子防災教室や冬の雪崩防災教室など各種イベントを開催しています。



地すべり資料館では、常設展示等のほかに防災に関する楽しいイベントも開催しています。自然災害について楽しみながら分かりやすく学べます。

地すべり資料館へのアクセス



- 上越市板倉区猿供養寺401-1
- TEL：0255-78-2687
- 開館時間 午前9：30～午後4：30
(12月～3月 午前10:00～午後4:00)
(毎週火曜日および年末年始は休館)
- 入館料無料



令和7年度 土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール 入賞者決定！

小・中学生のみなさんに、土砂災害及びその防止について理解と関心を深めていただくため、「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」を毎年開催しています。応募期間は6月1日から9月15日までです。今年度は、次のみなさんが入賞されました。今後もたくさんのご応募をお待ちしています。

【小学生・絵画の部】

最優秀賞

佐渡市立八幡小学校

6年 本間 すみれさん

新潟県治水砂防協会長賞

田上町立田上小学校 4年 堀内 結翔さん

胎内市立胎内小学校 6年 佐藤 世奈さん

優秀賞

胎内市立胎内小学校 6年 渡邊 真菜さん

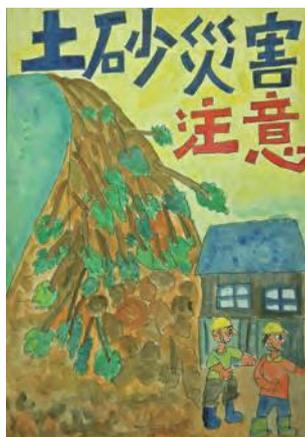
胎内市立胎内小学校 2年 佐藤 朱莉さん

佳作

胎内市立胎内小学校 2年 中野 優那さん

胎内市立胎内小学校 5年 齋藤 凜さん

最優秀賞（小学生）



佐渡市立八幡小学校
6年 本間 すみれさん

【中学生・絵画の部】

最優秀賞

国立大学法人上越教育大学附属中学校

3年 大嶋 朋佳さん

新潟県治水砂防協会長賞

国立大学法人上越教育大学附属中学校

1年 諏訪 愛衣菜さん

新潟県砂防ボランティア協会賞

長岡市立大島中学校

2年 小林 佳穂さん

優秀賞

長岡市立東北中学校 2年 金内 真由さん

新潟県治水砂防協会長賞（小学生）



田上町立田上小学校
4年 堀内 結翔さん



胎内市立胎内小学校
6年 佐藤 世奈さん

最優秀賞（中学生）



国立大学法人上越教育大学附属中学校
3年 大嶋 朋佳さん

新潟県砂防ボランティア協会賞（中学生）



長岡市立大島中学校
2年 小林 佳穂さん

新潟県治水砂防協会長賞（中学生）



国立大学法人上越教育大学附属中学校
1年 諏訪 愛衣菜さん

土砂災害のおそれがある区域の調べ方

新潟県土砂災害警戒区域等の指定状況

検索



調べたい市町村をクリック！
郵便番号でも検索できます。

バルーンをクリックすると
区域図が表示されます。



土砂災害(特別)警戒区域 区域図(イメージ)

大雨時の情報収集に役立つホームページ

新潟県土砂災害警戒情報システム

検索

土砂災害危険度の高まりを視覚的に把握できます。

気象庁

検索

大雨警報の発表状況や今後の見込み、雨雲の動きなど気象情報全般の情報収集はこちら。



新潟県土砂災害警戒情報システム

川の防災情報

検索

国土交通省が高精度な雨量データをリアルタイムに配信。

土砂災害の前兆現象

土砂災害の前には、前兆現象が起こることがあります。

前兆現象を見つけたら… **新潟県土砂災害110番!**

- すぐに安全な場所へ避難してください。
- 県地域振興局や市町村への連絡をお願いします。



地すべりの前兆



地面にひび割れや
くぼみ、盛り上がり
が起きたり、
わき水が出た時



池や沼の水の量が
急に变化した時
木がさけたり根が
切れる音がした時



井戸水が濁った時

土石流の前兆



「山鳴り」といって
山全体がうなっている
ような音がする時



川の流れが濁った
り、流木が混じっ
ている時



雨が続いているの
に、川の水が減っ
ている時

がけ崩れの前兆



がけから小石が
パラパラと落ちて
きた時



がけに割れ目が
できた時



がけから水がわき
出てきた時

資料提供：NPO 法人 土砂災害防止広報センター

詳しくは砂防課ホームページ

「神奈川県逗子市のがけ崩れをふまえた急傾斜地(がけ地)の点検を行う際のポイント」をご確認ください。



編集・発行

新潟県治水砂防協会

新潟市中央区新光町4番地1

新潟県自治会館内

新潟県土木部砂防課

新潟市中央区新光町4番地1

TEL : 025-280-5424 FAX : 025-285-9724

Email : ngt080090@pref.niigata.lg.jp

ホームページ : http://www.pref.niigata.lg.jp/sabo/